

「福井しあわせ元気」国体・大会を終えて

明治 150 年記念第 73 回国民体育大会
福井しあわせ元気国体は、多くの皆さんの力と創意を結集し、その名のとおり「しあわせ」を感じ、「元気」あふれる大会とすることができました。

すばらしい成績を収めた福井県選手、競技運営を支えていただいた競技役員やボランティアの皆さん、オープニングセレモニーなど式典出演者、そして熱い声援を送ってくれた児童生徒・観戦者の皆さんに心から感謝申し上げます。

あわら市開催の正式競技では、ゴルフ競技における福井県初の総合優勝の獲得やカヌースプリントでの多くの入賞、またバレーボール競技では多くの立ち見が出るなど、たいへんな盛り上がりとなりました。

この盛り上がりは、障害者スポーツ大会にも続き、観覧席は 2 重、3 重の立ち見が出るほどの観覧、そして熱い声援をいただきました。これは、福井県が全国初の試みとした国体と障害者大会の融合による途切れなく国体・障害者大会を実施した成果ではなかったでしょうか。

また、あわら市ではデモンストレーションスポーツとして、3 B 体操、オリエンテーリング、カヌーポロを開催しました。中でも 3 B 体操では、こども園園児からお年寄りまで 1000 人を超えるご参加をいただきました。この盛り上がりもアスリートスポーツだけでなく、誰もが気軽に取り組めるスポーツの振興、そして市民の健康づくりにつながるものと確信しております。

競技以外では、10 月 12 日に皇太子さまがあわら市にお越しになられ、金津創作の森でのお食事と株式会社 SHINDO をご視察いただきました。また、高円宮妃久子さまには 10 月 5 日に芦原ゴルフクラブにおいてゴルフ競技のご観覧をいただきました。あわら市にとって大変光栄なことであり、どちらも多くの市民の皆さんの熱烈な歓迎でお迎えいただきました。これも市民の皆さんの国体の貴重な思い出の一つとなったのではないのでしょうか。

50 年ぶりの国体を終えた今、次の節目は 4 年半後に迫った北陸新幹線開業です。国体では多くの市民の皆さんの力が集結され、ご協力・応援いただいたことが成功につながりました。今後は、その市民の皆さんのお力を再びいただき、市が丸一となって、誰もが夢や希望を持ち笑顔で元気に暮らす「誰もがときめくあわら市」の実現に向け、頑張ってまいりたいと考えております。

あわら市長 佐々木 康男



あわら市在住の入賞選手 (敬称略)

【優勝】▶フェンシング成年男子サーブル：福井（宮山亮 ほか）▶フェンシング成年女子エペ：福井（下大川綾華、坂下こず恵 ほか）【準優勝】▶カヌースプリント成年女子カナディアンシングル 500m、200m：桐明輝子▶カヌーワイルドウォーター成年女子カヤックシングル（スプリント）：江田純子【3位】▶ソフトボール成年女子：福井（江口実里 ほか）▶カヌースプリント成年女子カヤックシングル 500m：山下友理子▶カヌーワイルドウォーター成年男子カヤックシングル（1500m）：國京健二【4位】▶カヌーワイルドウォーター成年女子カヤックシングル（1500m）：江田純子【5位】▶ハンドボール成年女子：福井（近藤美帆 ほか）▶セーリング成年女子セーリングスピリッツ級：福井（藤井あゆ美 ほか）▶ソフトボール少年女子：福井（橋本彩夏 ほか）▶カヌーワイルドウォーター成年男子カヤックシングル（スプリント）：國京健二【7位】▶フェンシング成年女子フルーレ：福井（下大川綾華、坂下こず恵 ほか）【8位】▶カヌースプリント少年女子カヤックフォア 200m：福井（笹岡晏奈、本田結愛 ほか）▶カヌースプリント成年女子カヤックシングル 200m：山下友理子

ありがとう
ございました！



▲はびりゅうと国体推進課一同

	国体推進課のあゆみ
平成 25 年 7 月	福井国体開催内定
平成 26 年 4 月	スポーツ課内に国体準備室を設置
平成 27 年 4 月	国体推進課を設置
平成 27 年 7 月	福井国体・大会開催正式決定
平成 30 年 9 月	福井国体・大会開催

50 年ぶりの開催に熱狂

ついに開幕した「明治 150 年記念第 73 回国民体育大会 福井しあわせ元気国体・第 18 回障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会」。国体開催期間は、9 月 29 日（土）の総合開会式から 10 月 9 日（火）の総合閉会式まで、会期前競技も含めると約 25 日間にわたり、全国 47 都道府県の選手が連日熱戦を繰り広げ、福井県は大いに盛り上がりしました。

地元からの大きな応援に後押しされ、これまでの努力の成果をいかに発揮した福井県選手団は、序盤から入賞ラッシュ。そのまま最後まで快進撃を続け、目標としていた前回の福井国体以来 50 年ぶりとなる天皇杯と初の皇后杯を獲得し、有終の美を飾りました。

国体と障スポの融合を掲げた今大会では、初の試みとして国体期間中に障スポ競技の一部を実施。国体の熱気そのままに、障スポの会場にも多くの観客が訪れ、選手に声援が送られていました。

（写真提供 福井県）

国体・障スポとともに皇族の皆さまも来県

明治 150 年記念にして、平成最後の国体となった「福井しあわせ元気国体」。開会式に天皇・皇后両陛下がご臨席されたほか、多くの皇族の皆さまが来県され、国体と障スポの観戦や県内施設などをご視察されました。このうち、あわら市で開催したゴルフ競技（成年男子）には、高円宮妃久子さまがお越しになり、選手たちのプレーを温かく見守っていらつしやいました。久子さまは、あわら温泉にご宿泊されました。

また、皇太子殿下が、第 18 回全国障害者スポーツ大会の開会式に出席されるために来県。前日には、金津創作の森と株式会社 SHINDO に立ち寄りられました。金津創作の森では、佐々木市長とともに昼食を召し上がり、株式会社 SHINDO では、展示室をご覧学されました。皇族の皆さまは、行く先々に集まった多くの人たちから盛大な歓迎をお受けになると、ほほ笑みを浮かべながら、手を振って応えられていました。

国体を迎えるために

これまで多くの市民の皆さんに、国体を迎えるためのお手伝いをしていただきました。各都道府県を応援するためののぼり旗の制作や競技会場などを花で飾る花いっぱい運動、まちや競技会場などをきれいにするクリーンアップ運動などに、大人から子どもまで参加していただき、期間中は、県外から来た選手や関係者、観客の皆さんに、おもてなしの心を伝えるとともに、笑顔でお迎えしました。



▶【上から】総合開会式での福井県選手団、式典演技、総合閉会式での天皇杯授与



▶【右上から時計回り】総合開会式にご臨席する天皇・皇后両陛下、金津創作の森で出迎えた市民に手を振る皇太子殿下、ゴルフ競技（成年男子）を観戦される高円宮妃久子さま



▶【右上から時計回り】花いっぱい運動、トリムパークかなづ清掃、北潟湖清掃、応援のぼり旗制作